

件 名 メッツァとの連携と都市回廊空間の構築について

1 概要

昨年11月9日にメッツァビレッジがオープンし、本年3月16日にはムーミンバレーパークがグランドオープンしました。3月26日（メッツァビレッジ開業後135日目）にはメッツァ全体の来場者数が50万人を突破し、このゴールデンウィークでは10万人を超える来場があったとの発表がありました。

特にムーミンバレーパークでは、3月16日から31日までの16日間の来場者数が7.4万人に上り大変な賑わいをみせていました。

また、昨年の飯能河原・天覧山周辺の観光入込客数は67万人を超え、昨年度のトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園の来園者数は25万人に達するなど、近年では過去最多の観光入込客数となり、メッツァのオープンによる新たな人の流れ、都市回廊空間の拠点への多くの人の流れを中心市街地、そして山間地域へ呼び込み、それによる経済効果を全市的に波及させていかなければなりません。

そのため、飯能商工会議所、奥むさし飯能観光協会、各商店街、団体等と連携し、メッツァとの連携をより一層深め取り組んでまいります。

2 内容

1 ムーミンバレーパークグランドオープン後の賑わいの状況について

ムーミンバレーパークのグランドオープンというニュースは、メッツァビレッジ開業時以上に報道機関、各種メディアに頻繁かつ大きく取り上げられ、より多くの方々からの注目を集め、一般来場者は勿論のこと様々な旅行会社によるツアー客が多数訪れています。また、電車により訪れる方々も大変多く、特にゴールデンウィーク中は、メッツァ直行バスを利用する来訪者のバス待ちの列が飯能駅北口ロータリーのバス停から飯能駅の改札口を通り過ぎ南口付近まで連なるほどでした。そのため、飯能駅改札付近に職員を配置し、混雑対策を図るとともにこの機会を活用し積極的に市内の観光案内、PRに努めました。



開場を待つお客様の様子



たくさんのお客様で賑わうメッツァ内の様子



2 メッツァで開催されるイベントとの連携について

3月までメッツァで開催されたチームラボによるイベント「森と湖の光の祭」と商店街等が連携した優待イベントや2月に開催された「飯能ひな飾り展」でメッツァ内のソグベルクがひな飾り展示の拠点に加わるという連携を皮切りに、メッツァと飯能市内の各所の連携が多数開催されています。

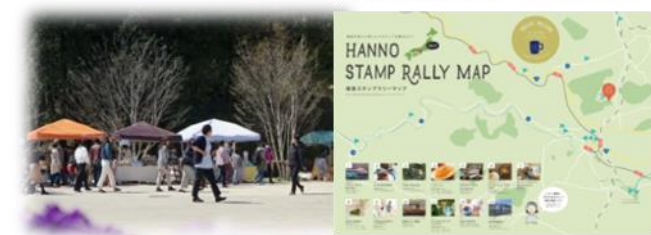
3月には、市内7店舗のカフェやロースターが参加した「メッツァコーヒーフェスティバル」が開催されました。

今年度に入ってから、4月には国内最大規模のハンドメイドクリエイターが制作した作品を販売する株式会社クリームによる「クリーマクラフトキャラバン」がメッツァにおいて開催され、全国から多数のハンドメイドクリエイターが出店したほか、市内の飲食店や雑貨店など10店舗が参加するスタンプラリーも同時開催されました。

また、6月8日から7月15日までの間、「森と、湖と、アンブレラと。」と題して、ポルトガル発祥の傘を使ったイベント、アンブレラスカイ・プロジェクトが国内最大級の規模で開催されます。期間中には、市内でオリジナルの照明器具をデザイン・製造・販売している「Feel Lab」による紫陽花をデザインしたブーケライトを製作するワークショップも開催されます。



メッツァコーヒーフェスティバルの様子



クリーマクラフトキャラバンの様子



アンブレラスカイ・プロジェクト
「森と、湖と、アンブレラと。」デザインイメージ



Feel Lab によるワークショップのイメージ

3 中心市街地での賑わいの創出について

(1) 「がんばる商店街等応援補助金」を活用したイベントの開催

本年度の新規事業として「がんばる商店街等応援補助金」を活用したイベントが開催されています。

飯能銀座商店街では、4月26日から5月12日までの間、「ちょっと寄り道、商店街」と題し、商店街に加盟している店舗に世界文化遺産の写真が貼られ、その中からフィンランド共和国の世界文化遺産を探し、抽選で北欧グッズが当たるスタンプラリーが開催されました。

また、飯能大通り商店街では、飯能新緑ツーデーマーチの開催に合わせ5月25日に飯能市有形民俗文化財である二丁目の山車を曳行し、小町公園でお囃子を披露するとともに商店街による販売を行うイベントを実施しました。

さらには、飯能商店街連盟では、6月1日、2日にトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園とメッツァで開催された「Hanno Green Carnival 2019」に合わせ、飯能銀座商店街広場、飯能大通り商店街小町公園、飯能中央通り商店街の3箇所を会場とし、はんのうカレーフェスタを開催されました。このイベントでは、「Hanno Green Carnival 2019」の当日パンフレットを持参した先着100名の来場者に対して、カレー1食分のクーポン券をプレゼントするなど商店街、中心市街地へ誘客する仕掛けが実施されました。

(2) 「新規出店促進事業補助金」を活用した新規出店

昨年度は、「新規出店促進事業補助金」を活用し中心市街地で6件、その他の地区に6件の合計12件の新規出店がありました。これにより、これまでこの補助制度を活用して新規出店した店舗は、中心市街地で27件となりました。これらの店舗でもメッツァと連携した誘客イベント等に積極的に参加し、本市の新たな魅力創出の一翼を担っているところです。



「ちょっと寄り道、商店街」の広告



「はんのうカレーフェスタ」の広告



4 メツツアでの障害者、シルバー世代の活躍

(株)ムーミン物語では、メツツアでの飯能市民の雇用に積極的に取り組んでいます。この度、飯能市障害者就労支援センターと連携することで本市に住む障害者の雇用が実現しました。また、メツツア内の清掃業務や看板掲示による案内業務については飯能市シルバー人材センターに業務委託するなど、メツツアにおいて本市の障害者、シルバー世代が活躍しています。

担当者 地方創生推進室長 関根
連絡先 Tel 042-978-5029